

秋の展覧会も終了したと思えば早12月です、なんと一年が早いものかと実感しています。省会関係者からは幸いにもコロナ感染はなく無事終了することが出来そうです。今月の玄和誌で承知のことと思いますが、齋浦先生の一人娘で常務理事の明石幸子先生が逝去されました。若い頃より「幸先生と呼んで親しくさせて頂きました。があまりにも早すぎでショックです。故郷はもう少しのせでやりばりたいと思えます。皆さんの為にも

【書道部門】 最優秀賞

雨過一蟬噪 飄蕭松桂青
岩澗 下小樓 註知介 西路歌吹是揚州

【題揚州禪智寺】 保科 翠華

第15回 秋葉区美術展

最優秀賞 保科 翠華
優秀賞 熊江 幽霞
奨励賞 井浦 白清
藤田 朋果
駒形 豊翠
灰野 紅舟
佐藤 華心
坂爪 光園
長谷川 孝太

公務出品者
田村 柳雪
池田 桃香
梶原 虹智
帆前 寿聖
古田 悠心
本間 美莉
本望 青龍
赤塚 光彩
松鷹 睦子
本間 彩光

以上当会から力作が40点出品していただきました。年々出品者が減少し大変な状況の中で地域振興、芸術普及という面から大いに助かり立派に貢献する事が出来たと思います。運営に当り御付け、当番等ご協力本当にありがとうございました。

理事・運営委員 菅井 松 聖月
中村 香月
無鑑査 園山 翠蘭
小林 桐花
近藤 隆光
飯田 翠風
高土 崎音
藤田 南龍
澤田 蘭水

明治時代に 阪正臣ばんまおみという書道の大家がいました。あるときその先生のもとへ「先生、どうぞ私に書道を教えて下さい。」と頼みにきた人がいました。見るとまだ十五才ぐらいの少女です。先生は、少女のあまりの熱心さに感動して教えることにしました。少女は大変喜んでそれからは先生の家へ泊まりこんで昼は先生の書いたお手本で熱心に筆をとって勉強しました。昼の疲れで眠くなると自分で手をつねったり、井戸端にいつて冷たい水を頭からぶぶぶぶ浴びたりして、眠気をさまし、深夜までけいこを続けました。また、朝は必ず人よりも早く起きて筆をとりました。このようにして数年間、一生懸命涙ぐましい努力を続けたのでめきめき上達していききました。この少女こそやがて学校の教科書を書かれたあの有名な比田井小琴先生であつたのです。先生は比田井天来という先生と結婚して二人が協力しあつて日本の書道の発展と振興に多大の功績を残されました。

皆さん、この書話を読んでどう思いますか。人生に目標をもつてくじけずに努力すれば、必ず念願を達成することできるのです。また、書道は、長い歴史の中でいろいろな人の努力が積み重ねられて東洋独自の芸術として築きあげられてきました。この書道は、「生きる力」を養い、心身ともに健全で豊かな人間性を育成するために大切な学習活動でもあるのです。中高生皆さんのご精進を期待いたします。

※ 温故知新 ふるい物事を究めて新しい知識や見解をひらくこと。
※ 比田井天来 日下部鳴鶴の弟子。

来年のえとです。年賀状などの参考にどうぞ

【寅の解字】

寅の原字は、「矢」と「両手」の会意文字で、矢をまっすぐにのぼす意味。寅の字は、それに「いえ」を添えた会意兼形声文字で、家の中で体をのぼして、いずまいを直すこと。

↑ 甲骨
↑ 籀文
↑ 篆文

↑ 金文
↑ 隶書

新津美術協会 書道部

第19回 小品展

【はがき年賀状展】

入場無料 （搬入は1/3(木) PM1:00~です）

● 日時
令和4年(2022年)
1月14日(金) 9:00~17:00
15日(土) 9:00~17:00
16日(日) 9:00~15:00

● 会場
新津地域交流センター 1F
新潟市秋葉区新津本町 1-2-39
TEL. 0250-21-4444

書作品の展示です ご高覧ください

出品者は搬入(1:00~)と搬出時(5:00~)に来た計お伝いをお願いします。共に1時間程度です

芸展、連盟賞を受賞して

澤田 蘭水

先生から突然入賞の知らせがあり 何と公募作品のトップ賞の連盟賞との事、只々驚きうれしきで一杯になりました。出品規定を改めて見て本当に驚きました。この様な賞は今後二度とないことと思います。又多くの方から祝の言葉を頂き褒められるってことは幾つになっても嬉しい限りです。

今回の作品はいつもより気持ち押さえて縦の流れ、潤濁、行間の響き合いを考慮しつつ書いてみました。二行目の中心部には苦慮しましたが何とかおさめる事が出来た様に感じています。先生のご指導のお陰と大変感謝しております。どうもありがとうございました。

この書道会では年に何回か錬成会があります。私も錬成会で他の人の作品を観たり先生の技の一つでも多く身につけたいと参加しますが中々早々上手くは行かないものです。同じ細微光峰なのに先生の手にかかるとまるで魔法にかかった様に線の違いがはっきりと分かります。何とか自分もと頑張るのですが何年たっても 手本がないと書けない! 悲しいかなこれが今の私の現実です。まだ錬成会に出席のない方 一度参加してみて苦楽を体験し自分を磨き上げてみてはと…必ず収穫があると信じています。

先生にお世話になって約30年になります。早いもので振り返ると色々な事が沢山ありました。苦しい時期も多々ありで、胸にグサツとくる失敗もありで、今は歳をとり落ち着いてきたのか苦しかったことは以外と薄れ、楽しい思い出だけが頭に浮かんできます。今後は長年の反省もかねマイペースで『継続は力なり』をモットーに少しずつ前進して行けたらと思います。これからも先生始め、皆さんにお世話になります。宜しく願い致します。

12月 新潟玄和開催のお知らせ

1)と き 2021年12月 19日(日)10:00~

役員総会15:00~

2)ところ 小合コミュニティーセンター

3)内容 書花展作品錬成

玄和会員でない方も
参加できます。
玄和会員参加費¥2000
非玄和会員参加費¥2500

保科翠華

この度、第15回秋葉区展において最優秀賞を頂きありがとうございました。

これも松雲先生をはじめ、書友の皆さまの御指導あつての事と感謝しております。

長く続くコロナ渦で、毎週の教室・市民会館における錬成会時に、きめ細かい感染予防を施して頂き、安全な環境で作品づくりに集中する事が出来た事を重ね重ね感謝いたします。

閉塞感のある今日この頃、この受賞により感じた事があります。

それは、人との繋がり大切さです。

錬成会では、先生は多くの手本書きをされるため、色々なバリエーションの筆使いを直接自分の目で観察する事が出来ます。これだけでも勉強になります。また、先輩方々のアドバイスや書友との情報交換など、縦や横の良い関係が今回の受賞に繋がったと思います。

書道の“道”は一人で歩くより、先を歩いてくれる人や後ろを歩く人がいて前進していくようです。

これからも、精進して皆様と一緒に書道の道を歩いていこうと思います。どうぞ、宜しくお願いします。